

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	85	行政バス運行経費	会計	01	一般会計
基本施策	51	市内交通機関の利便性を高める	款	02	総務費
			項	01	総務管理費
			目	06	企画費
担当部課名	阿山支所 総務振興課			細目	102 地域振興経費
作成者氏名	森岡 良夫	連絡先	0595-43-1543		細々目 08 行政バス運行経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	公共交通機関の空白地域における市民	成果(どうなるのか)	公共交通機関の空白地域の生活交通手段の確保と高齢者等の交通弱者移動手段の確保をする。
	本年度事業内容	直営で10人乗りバス2台により、6路線を運行している		
開始年度		平成 6 年度	終了年度	平成 年度
根拠法令・要綱等				

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	2	1	1
	人件費合計(A)	14,400	7,200	7,200
②支出内訳(千円)	事業費(B)	5,638	12,341	9,139
	委託料			
	報酬	3,718	5,577	5,577
	需用費	1,482	1,520	1,520
	その他	438	5,244	2,042
合計(A+B)		20,038	19,541	16,339
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	1,134	1,024	
	地方債		2,000	
	受益者負担	940	840	850
	その他特財			
一般財源		17,964	15,677	15,489
上記①～③に関する特記事項				
H18年度 合併特例債事業により15人乗バス(315万円)を1台購入予				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
年間利用者数	人	9,179	7,700	8,800			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
行政バス年間利用者数	三重交通路線バスの便数等により変動するので一概には言えないが、年間利用者数の増減により成果が測れる	人	9,179 目標 (1万人)	7,700	8,800
行政バス収支率	事業が効率的に行われているかどうかを測る指標として、全事業費に対する収益の割合を検討する。	%	13.9 目標 (30)	11.6	13.2

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

三重交通路線バス玉滝線が平成17年4月より阿山支所止となった。それに伴い1時間に1本運行されるように増便されたが、平成18年4月より大幅な減便が行われた。
10人乗りバスによる運行のため、定員オーバーによる積み残しが月に数日発生している。このためバスの大型化が必要である。

評価	必要性	4	三重交通路線バスは平成17年4月から阿山支所止となり、行政バスが唯一の公共交通機関となった。高齢者等交通弱者の通院・買い物等の生活交通手段確保のため引き続き実施する。	総合評価 B
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	2		